
MPT-8 Music Playback Transport

取扱説明書

PLAYBACK
DESIGNS

この度は Playback Designs トランスポート MPT-8 をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本説明書をよくお読みになり、設置や操作方法を充分にご理解の上、正しくご使用ください。
未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

はじめに

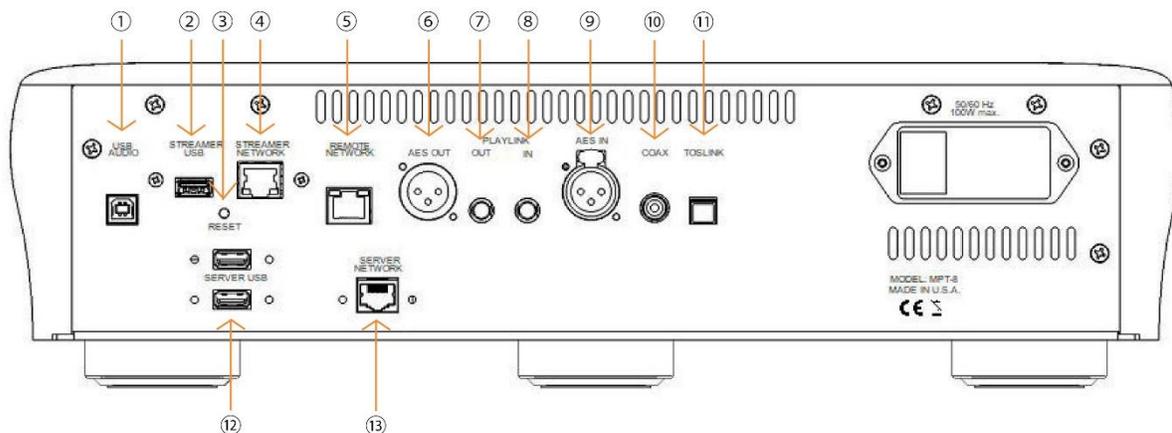
箱から商品を取り出して、中身をご確認ください。

万一不足や損傷がありましたら、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

1) MPT-8 本体	x 1
2) 電源ケーブル	x 1
3) 2P/3P 変換プラグ	x 1
4) USB2.0 ケーブル (A-type/B-type)	x 1
5) PLAYLINK ケーブル	x 1
6) 取扱説明書 (本紙)	x 1
7) 保証書	x 1

各部説明

リアパネル



デジタル出力:

- ⑥AES OUT: ステレオ・リニア PCM 用 AES/EBU。16bits/44.1kHz 対応 (DISC 再生時) 24bits/192kHz 対応 (デジタル入力時) DSD 再生時 DoP 方式採用。
- ⑦PLINK OUT: Playback Designs 製品 (MPD-8 DAC) 専用高性能ファイバー端子。PCM/DSD 対応。

デジタル入力:

- ①USB AUDIO: 本機とパソコンを USB で直接接続。PCM384kHz、DSD11.2MHz まで対応。
- ②STREAMER USB: Stream-X option インストール時のみ使用可能。USB デバイス音源再生対応。Stream-X マニュアルをご参考ください。
- ④STREAMER NETWORK: Stream-X option インストール時のみ使用可能。ネットワーク音源再生対応。Stream-X マニュアルをご参考ください。
- ⑧PLINK IN: Playback Designs 製品 (MPD-8 DAC) 専用高性能ファイバー端子。PCM/DSD 対応。
- ⑨AES: ステレオ・リニア PCM 用 AES/EBU バランス (XLR) 端子。24bits / 192kHz 対応。DSD 再生時シングル DoP 方式採用。
- ⑩COAX: 24bits / 192kHz 対応。DSD 再生時シングル DoP 方式採用。RCA コネクタ使用時、S/PDIF フォーマット対応。
- ⑪TOSLINK: 24bits / 192kHz 対応。DSD 再生時シングル DoP 方式採用。RCA コネクタ使用時、S/PDIF フォーマット対応。光コネクタ使用時、最大 96kHz 対応。
- ⑫SERVER USB: Syrah または Roon オプション・サーバー・インストール時のみ使用可能。USB デバイス音源再生、外部 DAC 音源再生対応。Syrah マニュアルをご参考ください。
- ⑬SERVER NETWORK: Syrah または Roon オプション・サーバー・インストール時のみ使用可能。ネットワーク音源再生対応。Syrah マニュアルをご参考ください。

システムコントロール:

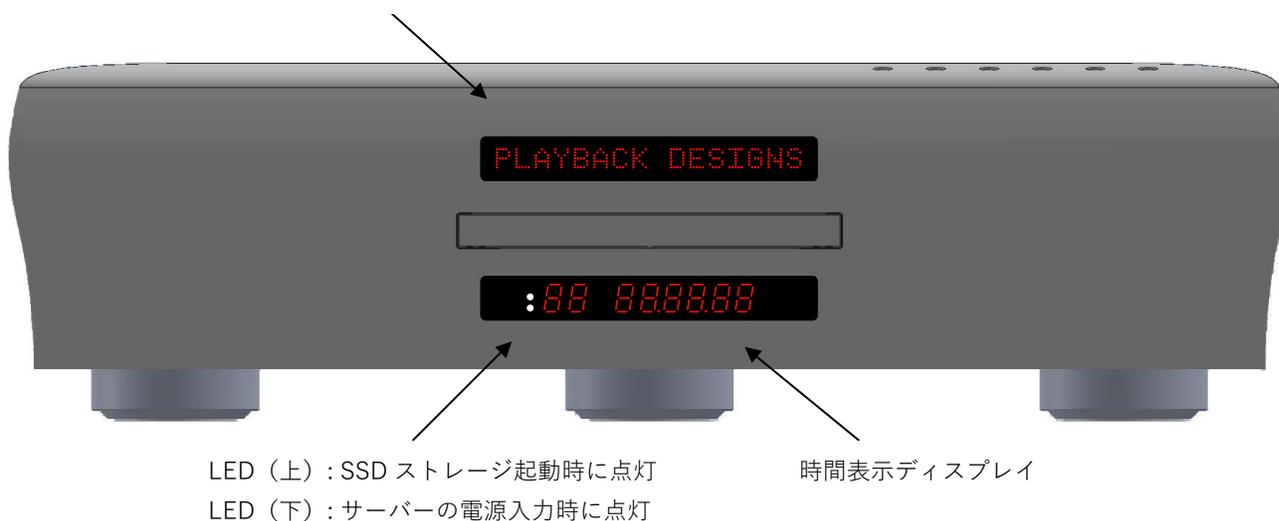
- ③RESET: ソフトウェアのアップグレード時にご使用ください。通常の操作時に RESET ボタンを押すと、本機の設定が初期化されます
- ⑤REMOTE NETWORK: タブレット用アプリ経由で操作が可能になります (こちらの機能は、今後搭載予定です)

【ご注意】

まずスタンバイ状態に切り替え、ドライバーやサーバー（インストールしている場合）をシャットダウンしてから、リアパネルにある電源スイッチを OFF にしてください。最初に電源スイッチを OFF にしてしまうと、SACD ドライバーやサーバーが故障する原因となります。

フロントパネル機能

メッセージ表示ディスプレイ



ボタン:



トレイ開/閉



再生/一時停止。開いているトレイを閉じ、曲を即時再生できます。



停止



前のトラックへ

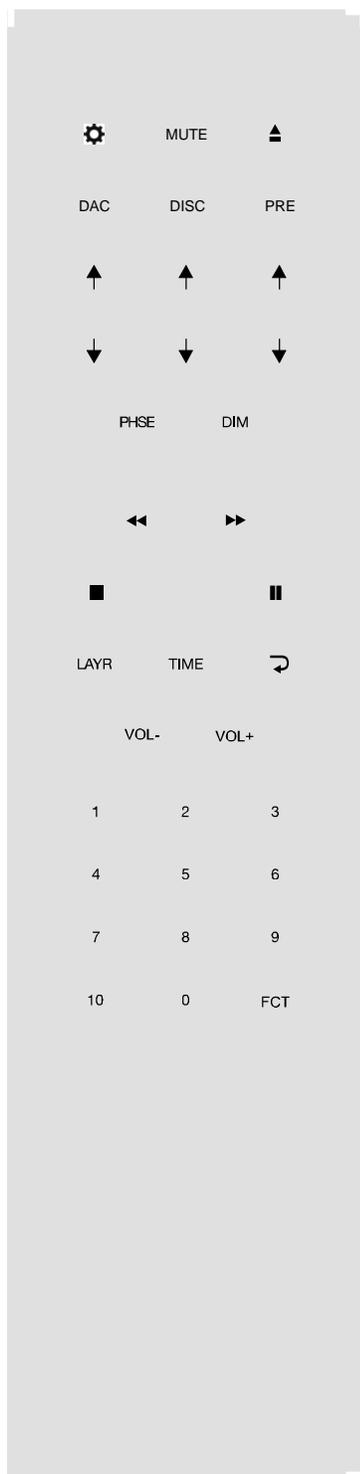


次のトラックへ



スタンバイモード ON/OFF。オプション・サーバーをインストールしている場合は、電源を OFF にする前に必ずこのボタンを押し、サーバー・システムを OFF にしてください。内部ストレージ・ユニットが保護された後に、ドライブやサーバーがシャットダウンされます。スタンバイモードボタンを押さず、最初に電源スイッチを OFF にしてしまうと、SACD ドライバーやサーバーに深刻なダメージを与える可能性があります。

リモコン (MPT-8 にリモコンは付属していません。MPD-8 併用時をご確認ください)



フロントパネルに SETTING MENU が表示されます。DISC ボタンを押し、MPT-8 の設定をしてください。



通常操作時、DISC ボタンの下にある上下の矢印ボタンを押すと、選択されている入力端子が切り替わります。SETTING MENU 設定時、この矢印ボタンを押すと、SETTING MENU が切り替わります。



トレイ開/閉

PHSE

MPT-8 にご使用できません。

DIM

ディスプレイパネルの画面が暗くなります。



トラック移動

長押し (通常操作時) : トラックの早送り・早戻しができます。



停止.



再生。開いているトレイを閉じ、曲を即時再生できます。



一時停止。もう一度押すと再生されます。

LAYR

SACD のレイヤーを選択できます。レイヤー切替時は、必ず曲の再生を停止させていただきます。

1 回押す : 選択されているレイヤーが表示されます。

続けて 2 回押す : レイヤーが切り替わります。

1 秒以上操作されない : 選択されたレイヤーで設定されます。

CD 再生時にご使用できません。

TIME

下記 2 種類の表示時間の切り替えができます。

- 経過時間
- トラック再生残り時間

1 回押す : 既に選択されている方 (経過時間またはトラック再生残り時間) が表示されます。

再び押す (5 秒以内) : 表示時間が切り替わります。



リピート機能 (2 種) : トラックのリピート再生/ ディスクのリピート再生

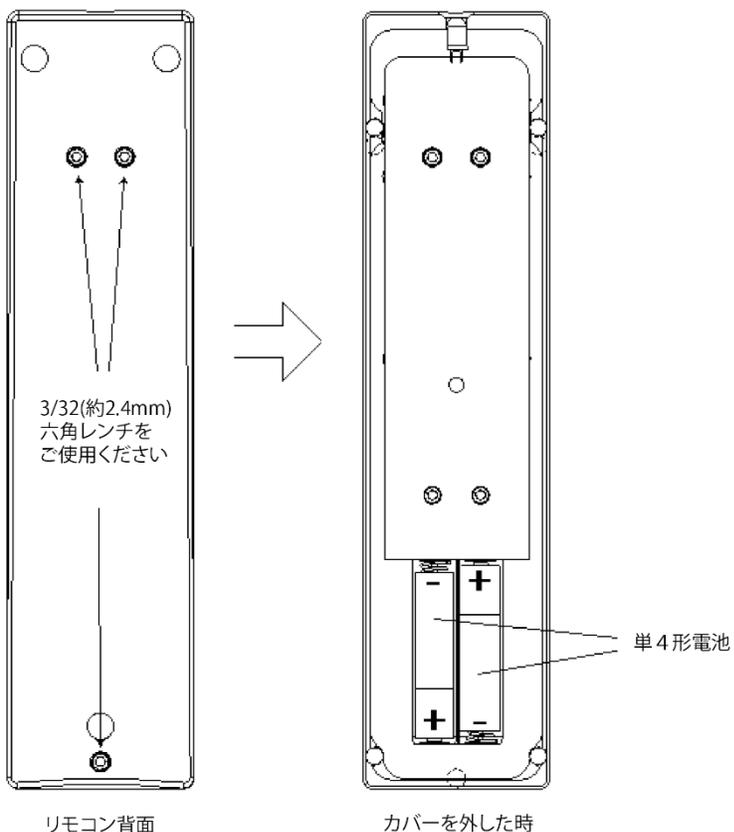
数字ボタン : トラック・ナンバーの選択、再生。

10 番以降の操作 : ボタン⑩を繰り返し押ししてください。

例) トラック 23 の場合: ボタン⑩ x 2 回とボタン③ x 1 回押ししてください。

上記以外のボタンはご使用いただけません。

リモコンの電池交換

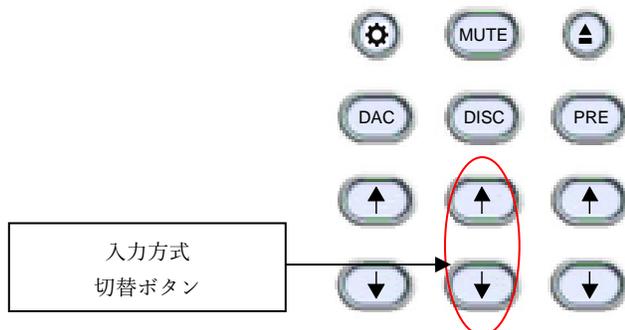


単4形電池2個をお使いください。
六角レンチを使い左の図の通り、リモ
コンの背面カバーを外してください。
+、-を間違えないように交換用電池
を入れてください。

設定・デジタル入力選択

IR リモコンの DISC ボタンの下、上下の矢印ボタンを操作することで、デジタル入力選択ができます。本上
下の矢印ボタンを操作し、9つのデジタル入力を一つずつ順番に切り替えることができます。

使用しないデジタル入力の機能を停止しておくことで、必要なデジタル入力だけを選択可能にし、操作時間
を短縮することができます。（詳細は setup menu をご覧ください）例えば、USB 入力と AES 入力しか使
わない場合は、他のデジタル入力の機能を停止しておき、矢印ボタンの操作を一回するだけで、USB・AES
間の切り替えができるようになります。



Windows / Mac との接続

対応フォーマット:	PCM: 384kHz / 24 bits 対応 DSD: ネイティブ 11.2MHz / DoP 5.6MHz 対応
プロトコル接続・接続方法:	USB 2.0 / Audio class 2.0, 非同期モード MPT-8 世代高機能マスター・クロック搭載
Windows PC 環境:	Windows 7 以降, ASIO 対応音楽ソフト (JRiver 等)
Mac 環境:	OS X (10.6.6 以降)

MPT-8 をお持ちのパソコンと続き音楽データを伝送する際は、あらかじめ専用のドライブソフトをインストールする必要があります。ですが、Mac OS X (10.6.6 以降) をご使用の場合は、すでに PCM 384kHz まで対応しているので、ドライブソフトをインストールは必要ありません。また、Mac では DSD 再生時 DoP 方式を採用しているので、追加ドライバーも必要ありません。Windows をご使用の場合は、ドライバーをインストールする必要があります。

PC ユーザー様への注意：

Windows の操作システムは、リアルタイム・システムを採用しておりません。音楽再生時、リアルタイム処理の実行時間を短縮するために、特殊な処理システムが採用されています。そのためこの処理システムでドロップアウトが発生し、場合によっては非常に短い時間で処理される一方で、少し長い時間がかかることもあります。パソコンによっては、製造時にドライバーとシステムプロセスがあらかじめ設定されているために、このようなドロップアウトが発生します。あるいは、ユーザーがインストールしたソフトウェアがリアルタイム・システムのみでの音楽再生しかできない場合に、同様のドロップアウトが発生します。下記のフリーソフトをご使用いただき、お持ちのパソコンでリアルタイム・システム処理が可能かご確認ください。

1. <http://www.resplendence.com> にアクセスし、LatencyMon ユーティリティプログラムをダウンロードしてください。上記 Web サイトにはこの他にも、プログラムの説明と技術情報が掲載してあります
2. LatencyMon を起動してください。10~15 分経過後、お使いのパソコンがドロップアウトなく音楽再生ができる環境にあるかどうか、判定されます。

この LatencyMon のプログラム容量は小さいため外付け装置の必要はなく、フラッシュメモリに転送し持ち運びが可能です。新しいパソコンをご購入の場合は、店頭で上記テストをご確認ください。

ドライバーソフトのインストール・Windows の接続

1. www.playbackdesigns.com へアクセスし、最新の USB ドライバーをダウンロードしてください。
2. インストーラーをダブルクリックし、表示される指示に従ってください。
3. MPT-8 を起動し、付属の USB ケーブルを使用し MPT-8 の USB 接続端子と、パソコンを接続してください。
4. MPT-8 の USB 入力を選択してください。
5. USB 入力設定時、設定完了には一定時間が必要となります。問題なくダウンロードが完了すると、通知が表示されます。Sound Control パネルにある Sound, Video and Game Controllers タブの下に「AKDesign USB Audio」と表示されることを確認し、ドライバーのインストールとデバイスマネージャーの接続が問題なく完了していることを確かめてください。
6. ご使用の音楽プレイヤーを ASIO 設定にしてください。ご使用環境によって、「AKDesign USB ASIO」あるい



は単に「ASIO」と表示されます。場合によっては、音楽再生用 ASIO 出力プラグインが必要となります。

7. 音楽再生ソフトの全ボリュームコントロールを 0db (wide open) に設定し、機動する可能性のあるエフェクトやイコライザーの機能を停止してください。ボリュームの変更は、アナログプリアンプから行ってください。

Mac との接続

ドライバーをインストールする必要はありません。DSD ファイル再生する場合は、お使いの音楽再生ソフトが DoP 方式で MPT-8 へ出力されていることをご確認ください。

Windows PC 再生

ご使用の PC 内で作動する音楽ソフトで曲の変更を行う場合、USB プロトコルはサンプルレートと自動通信し、MPT-8 へデータ伝送します。音楽再生中は、MPT-8 のフロントパネルに常時サンプルレートが表示されます。このシステムでは、音質に悪影響を与える可能性のあるサンプルレート変換やシグナル処理は行わず、ご使用の音楽ファイルのビットレートをそのまま使用し、アナログ出力変換を行っています。

Mac 再生

ネイティブ OSX オペレーションシステムや iTunes はオーディオフィア向けになっておらず、サンプルレート変換しかできません。MPT-8 と OSX を接続する場合、最も高いと考えられるサンプルレート (384kHz) が自動選択され、全再生曲をこのサンプルレートに変換した後、USB 経由で再生します。この結果、音質は劣化します。Audio/MIDI Setup utility から再生曲のサンプルレートと同じサンプルレートを手動で選択することができますが、再生したいと思っている音楽ファイルのサンプルレートがそれぞれ違う場合、これでは手間がかかります。別会社が開発した iTunes 用プラグインが、上記過程を自動的にを行い、正しいサンプルレートを選択し、完璧な音質で再生しますので、そちらをご使用いただく方法もあります。

DSD ファイル再生

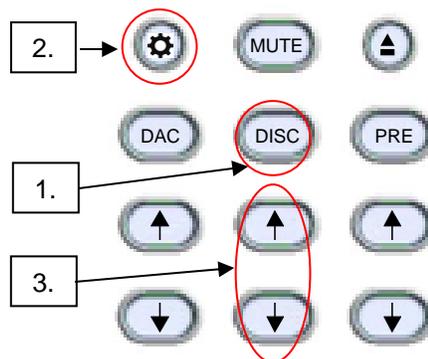
推奨ドライバーソフトおよび MPT-8 ハードウェアは、DSD ファイル 11.2MHz 対応となっています。Windows OS をご使用の場合は、DSD ファイルの読み込み可能な音楽再生ソフトをあらかじめインストールし、USB ドライバーを使用し曲を再生してください。Mac OS をご使用の場合、音楽再生ソフトを DSD 再生時 DoP Standard 方式を選択してください。

【ご注意】

1. 音楽再生ソフトのボリュームコントロールを全て 0db (wide open) に設定し、起動する可能性のあるエフェクトやイコライザーの機能を停止してください。ボリュームの変更は、アナログプリアンプだけで行ってください。
2. USB 入力での音楽再生から、異なる入力方式 (ディスク再生、AES 入力または Coax 入力) への再生への切り替えもできますが、入力方式を切り替える際は、一度再生を停止してから入力切替をしてください。正しい入力方式が選択されていない場合、MPT-8 のクロック・マネージャから正しい周波数が USB ポートに伝送されず、コンピューターソフトが正常に動作しない可能性があります。ですので、USB 入力から切り替える場合は、その都度コンピューター上から再生を停止してください。

SETUP MENU

リモコン操作で、ディスプレイ上に表示されるオプションの切り替えが行えます。まず初めに、リモコン上の DISC ボタン（下図①）を押し、次に SETTING ボタン（下図②）を 5 秒間押し続けてください。ディスプレイ上段の表示が点滅し、setup menu の最初の項目が表示されます。次の項目に進む場合は、矢印ボタン（下図③）を押してください。



メニュー設定を変更する際は、PLAY ボタンを押してください。全ての設定が完了したら、SETTING ボタンを再度押してください。メニュー設定画面が終了します。

下記項目の設定・確認ができます。

1. デジタル入力 (8 入力) : それぞれの入力の電源を個別に OFF にでき、通常の操作をする間は、その機能が働くことはありません。例えば、2つの入力しか使わない時は、他の4つの入力の電源を OFF にできます。リモコンの矢印ボタンで2つ入力だけの切り替えができます。
オプション・サーバーをインストールした場合：オプション・サーバー使用時外部 USB 入力は自動的に OFF になります。
2. お持ちの MPD-8 のシリアルナンバーの確認。ユーザーによる変更はできません。
3. ファームウェアのバージョンの確認。
4. PLINK OUT: MPT-8 と従来の Playback Designs DAC (例：MPS-5) と接続する場合は "Classic" フォーマットを選択してください。他の製品をご使用の場合は "Sonoma" フォーマットを選択してください。
5. PLINK IN: 従来の Playback Designs DAC (例：MPS-5) と接続する場合は "Classic" フォーマットを選択してください。他の製品をご使用の場合は "Sonoma" フォーマットを選択してください。
6. IR LOCK: IR コントロール機能が働いた場合、2つの異なる機器に対し1つのコードが使用されるため、不具合が生じる可能性があります。IR LOCK は、MPT-8 へ送られる IR コマンドを無効にします。
7. HOUR: 使用開始からの累計使用時間を表示します。
※この使用時間は、組み立て完了後の動作チェックや Playback Designs 内でのランニングテスト、ナスペックでのチェック時間も含まれています。そのためご購入時にある程度経過していますが正常な値です。ご安心ください。
8. オプション・サーバー: 内部オプション・サーバー (Syrah または Roon) インストール時にこの機能は作動します。インストールをしていない場合は、OFF になります。

レコーディング

USB Audio インターフェイス接続により、デジタル音源の録音ができます。Windows 対応アプリをインストールし、簡単に録音することができます。www.playbackdesigns.com へアクセスし、マニュアルと詳細をご確認ください。

EXTERNAL CLOCK

MPT-8 に用いられている高性能クロック・ジェネレーターは、外部クロックとロックする必要がありません。独自の制御アルゴリズムを使用することで、外部からのデジタル入力引き起こすジッターを完全に取り除き、内部クロック回路を完全にシールドしています。マスター・クロックのややこしい設定をする必要はありません。MPT-8 は外部クロックも、マスター・クロックの設定も必要ありませんが、より高価な製品に引けをとらない上質な音が再生可能です。

エージング

MPT-8 にはアナログ出力機能がないので、エージングによって大きな影響を受けることはありませんが、一部のパーツには効果があります。曲再生をせず、電源を入れたままにしておいてください。350 時間を超えて、少しずつ能力を発揮し始め、500 時間を超えると安定したパフォーマンスが得られます。

ファームウェア・アップデート

Playback Design はアルゴリズム、オーディオデータの処理方法を革新しており、新しい機能の追加や、さらに高い音質が実現するたびに、新しいファームウェアをリリースしています。全て audio wave file としてリリースされます。他のオーディオ・ファイルと同様に、MPT-8 とお使いのパソコンを USB ケーブルで接続してください。内蔵プロセッサが自動的にファイルを特定し、ファームウェアをアップデートします。この間、自動でボリュームがゼロに設定されるため、音楽の再生はできません。MPT-8 はプロセッサを 2 つ搭載しており、それぞれがファイルをアップデートする必要があります。インストールされているソフトウェアのバージョンはディスプレイで確認いただけます (Setup Menu をご確認ください)。

ファームウェアのアップデートについて:

重要なファームウェアのアップデートがあった場合、株式会社ナスペックの HP(<http://naspecaudio.com/>)にて、ご案内させていただきます。

アップデートの手順:

1. MPT-8 の電源を入れてください。
2. 付属の USB ケーブルを使ってパソコンと MPT-8 を接続してください。リアパネルにある USB AUDIO 入力端子に接続してください。Roon オプション・サーバーをインストールしている場合は、Roon 操作によるアップデートが可能です。
3. 最新ファームウェアとなる Wave file のダウンロード・インストールを行ってください。Mac OS で iTunes をご使用の場合、こちらのアップデートには対応しておりません。Mas OS で Audirvana をご使用の場合は、アップデートが可能です。Windows OS では、Foobar, Roon をご使用の場合、アップデートが可能です。JRiver は対応しておりません。
4. ファイルを再生してください。
5. フロントパネルに WRITING FLASH と表示されます。この文字の表示中は、なんの操作もしないでください。システムの変更、パソコンからの入力、リモコン操作、入力の変更、電源を切るなどは、絶対にしないでください。アップデートが完了するには 2 分ほどかかります。
6. アップデートが完了すると、フロントパネルは通常表示に戻ります。アップデートが失敗すると、WRITING FAILURE と表示されます。手順の間違いや、アップデート途中でドロップアウトが発生した場合、アップデートは失敗します。下記手順を行ってください。:
 - a. MPT-8 リアパネルにある電源スイッチを切らないでください。
 - b. パソコンと MPT-8 をつなぐ USB ケーブルを抜いてください。
 - c. MPT-8 をスタンバイモードにした後、リアパネルにある RESET ボタンを押してください。
 - d. フロントパネルにある電源ボタンを押してください。
 - e. USB ケーブルで、パソコンと MPT-8 をつないでください。
 - f. 音楽ファイルを再生して、問題なく動作するか確認してください。
 - g. 再生を停止し、手順 3 から設定し直してください。
7. エラーメッセージがなにも表示されず、通常の画面が表示された場合、アップデートは問題なく完了しております。確認用の音楽を再生している場合は再生を停止し、USB ケーブルを抜いてください。
8. MPT-8 のリアパネルにある電源スイッチを切ってください。
9. MPT-8 の電源を入れ、setup menu からソフトウェアのバージョンを確認してください。動作に問題がないことを確認してください。

SPECIFICATIONS

入力系統 (デジタル)	S/P DIF Co-axial × 1 系統
	S/P DIF Toslink × 1 系統
	AES/EBU XLR × 1 系統
	PLAYLINK × 2 系統
	USB Storage (A-type) × 3 系統
	USB Network (B-type) × 2 系統
出力系統 (デジタル)	AES/EBU XLR × 1 系統
	PLAYLINK × 1 系統
システムコントロール	REMOTE × 1 系統
	RESET × 1 系統
消費電力	100W (最大)
サイズ (W×D×H)	460 x 430 x 130 mm
重量	17.0 kg

【ご注意】 本機は、2018年8月1日現在のWindows/Mac OSに対応しています。

それ以降のOSアップデートにつきましては、製品を認識できない等のトラブルが発生する可能性があります。アップデートを行う際は、必ずお買い上げいただいた販売店または株式会社ナスペックまでお問い合わせください。

また、確認前にアップデートを行った際の問題につきましては、大変恐縮ではございますが、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

Playback Designs は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。
また本製品の輸送に必要となる購入時の箱・緩衝材は、必ず保管しておいてください。

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。
詳しくは、株式会社ナスペックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。
修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問い合わせください。

※修理についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **Playback Designs** 日本輸入総代理店 株式会社ナスペックまで



株式会社ナスペック
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5

HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510
FAX : 058-268-7118
 : 0120-932-455
E-mail : info@naspecaudio.com

2019.7.5 (Ver 1.05)